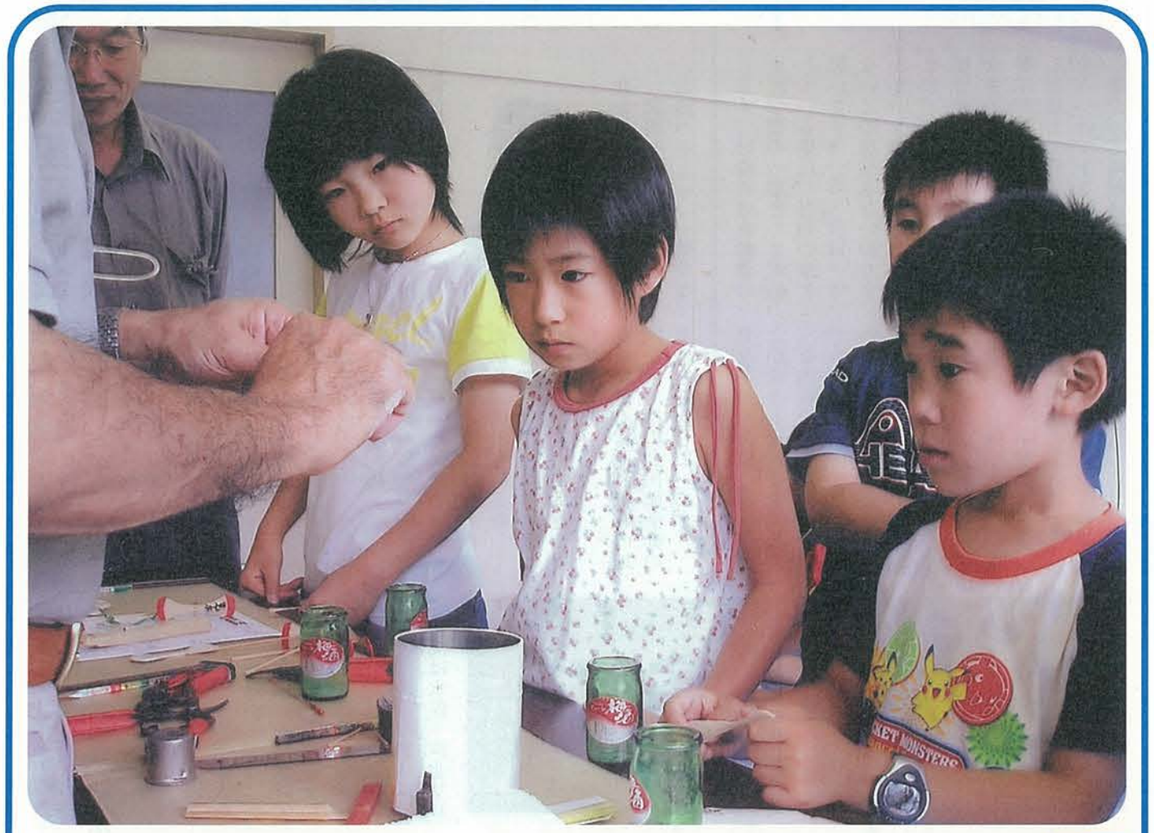
発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)5400番
平成16年7月1日発行
第357号
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の顔を写したものです。

津奈木



親子竹とんぼづくり教室

青少年健全育成の一環として物づくり体験をとおして親子のふれ合い、創る喜び、作品の出来栄えで楽しむというねらいで取り組んでいます。今までに竹馬教室、たこ作り教室等に取り組んできました。

この真剣な表情と鮮やかな手捌き…

今時の子どもはナイフ、包丁、鎌等を使わせたらハラハラドキドキの連続です。おそらく最近の子ども達は鎌やナイフを使って工作をすることはないと思います。学校現場での「図画工作」の時間には体験しますが、自宅において自分から鎌、ナイフ、のこぎり等を使って物づくりすることは皆無と思います。この機会を捉えて参加してみませんか。次回は「水でっぽう」の予定です。

一言

津奈木町に住み始めて七年目、地域の皆さんの温かさを感じながら過ごしています。野菜、花木育てと忙しい毎日です。最近ガーデニングが盛んですが、土に接して物を育てる事の楽しさを感じられていると思います。朝夕花木を眺めると心が癒されます。今の時代は、お金で何でも出来た物が買えますが、自分で野菜等を育て食べる楽しさを実感されてはいかがでしょう。

津奈木町はみかんが特産ですが、みかん園が至る所で荒れています。石垣作りの段々畑は先祖が残してくれた遺跡。でも、今多くの家庭が、後継者問題で悩んでいます。時代の流れでは済まされないのでは…。そこで、若い人に一言、仕事も大変でしょうが、休日には、みかん、野菜育てに挑戦して下さい。将来きっと、あの時やっていて良かったと思う日が必ず来ると思います。将来津奈木町を育てるのは、今町にいる若い人達です。両親や行政、地域の皆さんと知恵を出し合い未来に〝つなぎ〟たいものです。**開田敏治(日当)**

子ども美術館(26)

「花火」

町文化協会奨励賞作品

赤崎小三年　松崎　春樹

夏まつりの時の花火がきれいだったので花火の絵を描きました。いろんな色でよくできていたと思います。

でも、色をきれいにぬれなくて花火がきたなくなったところもありました。でも、いっぱい花火ができてよかったです。花火の絵が楽しくぬれてよかったです。

この作品は、平成十五年度町文化協会奨励賞です。学年は十五年度。

平成十六年度 社会教育団体役員紹介

皆さん御多忙の中に、今年度もお世話になりますがよろしくお願い致します。

津奈木小学校PTA

会長　新立　晴敏
副会長　若島　一弥
〃　山本　久

赤崎小学校PTA

会長　上村　勝法
副会長　佐々木京子
〃　吉野　芳美

平国小学校PTA

会長　村上　恭一
副会長　野崎　昭三
〃　新立さなえ

津奈木中学校PTA

会長　山崎　廣人
副会長　福田　清隆
〃　山本　誠吾
〃　財部むつみ

PTA連絡協議会

会長　新立　晴敏
副会長　山崎　廣人
〃　新立さなえ
顧問　荒木由紀子
監査　村上　恭一
〃　財部むつみ
書記会計　有本　智春

老人クラブ連合会

会長　林田　重輝
副会長　新立　和市
〃　津田　良子
〃　平野　シエ
事務局長　松原　保男
監査　永田　正人
〃　河村　敏彦

津奈木校区婦人会

会長　石田ミサ子
副会長　西川　京子
〃　塩山　順子

赤崎校区婦人会

会長　伊藤セイ子
副会長　吉野　芳子

平国校区婦人会

会長　福山　二子
副会長　村上真由美

津奈木町連合婦人会

会長　石田ミサ子
副会長　福山　二子
書記　塩山　順子
会計　伊藤セイ子

津奈木町青年団

団長　坂口　信行
副団長　林田　久志
〃　村上　泰央

図書館からのお願い

◎返し忘れていませんか?

津奈木町図書館では、定期的に本の整理を行なっています。特に未返却と思われる貸出し本については、通知を出しています。貸出し期間(一週間)を大幅に過ぎている未返却本が対象になります。通知が届きましたら、図書館又は教育委員会までご連絡下さい。

◎図書本購入の参考のため、館内入口にアンケート用紙を置いています。ご希望の本があればご記入下さい。

第54回 "社会を明るくする運動"

編集後記

子どもによるあまりにも短絡的な事件がおこる度に震撼させられます。悲痛すぎて苦しささえ感じます。

戦後、物の豊さだけを追求し、心を伝えることを軽視してきた結果なのでしょうか。子どもが育つ中で基本となる家庭力の低下や、余分なことに拘ろうとしない地域力の低下がよく話題になりますが、本町では、公民館活動が盛んになりつつあり、嬉しく思います。

津奈木町自治公民館研修会

二地区区長実績発表

つなぎ文化センター会議室において十五年度活動実績発表が行なわれました。十五年度は五地区が助成決定し、一年間に亘り取り組みがなされ、その成果が発表されました。

田ノ神祭り（中尾地区）
発表者・谷口　徹区長

先ず、農家組合、中山間地区直接支払事業組合、子ども会、老人会、婦人会等々の十六名の委員で協議してどんな事業内容にするか区長の音頭とりで企画されました。内容は、豊作祈願祭（神前で）、グラウンドゴルフ、鶏めし、材料は金のかからないように持ち寄り。にわとり八羽、野菜類は自家製、米二十kg無償提供、調理は老人会、婦人会、子ども会の各役員による協力により素晴らしい出来栄えでした。

かかし祭り（古中尾地区）
発表者　長原亮輔区長

活動のテーマ、「豊かな自然、緑と清水を生かし、住みたくなる、地域づくり」案山子作りを中心にして、製作準備段階から老人会、婦人会、子ども会といったさまざまな団体に集まってもらい他団体との交流も深まっていきました。老人の一人暮らしへは出来たての弁当を宅配して大変よろこばれました。

まとめ

川内ホタル祭りの取り組みも、三年めが終わりました。地区の交流は年々盛りあがり、成果もみえだしています。また、町内にはめずらしくホタルの乱舞もみられました。

今年度も、それぞれの地区ならではの公民館活動の実施を期待しています。

あけぼの大学

今年度も「あけぼの大学」では様々な講座を開いております。対象者は高齢者の生涯学習の一環として実施している事はご存知の事と思います。「老人会員」でないと参加出来ないのですかという問い合わせがあります。高齢者の生涯学習の場ですから老人会員に入会なさっていない方も関心や興味のあられる方はどしどし参加して教養と生きがいをみつけて下さい。

また、赤崎校区で参加出来なかった方は、平国校区とか津奈木校区でも同じような内容で行っていますのでもう一度聞いてみたいとか参加してみたいという方は有線放送をしますので参加されては如何でしょう。

森信孝先生の実技指導

七月予定（八月は休み）

くらしの中の危険（五日）赤崎校区
草花の育て方（十四日）津奈木校区
高齢者の健康管理（二十六日）平国校区

九、十月については館報の「九月号」をご覧下さい。

バスケット部城南大会で優勝、ジュニアバレーボール部県大会へ出場

バスケット部は、決勝トーナメントで昨年新人戦で優勝の代陽小を下し、決勝戦では水俣二小を33対20で下して伝統ある大きな大会で優勝し選手達も励みになりました。

また、ジュニアバレーボール部は水俣・芦北ブロック予選で優勝して念願の県大会出場を果たしました。強化練習及び遠征試合を重ねて着実に力をつけてきました。今後も努力を重ねて津奈木の伝統になるよう期待します。

優勝した津小バスケットボール部

ジュニアバレーボール部

お知らせ　自主文化事業の実施

つなぎ文化センターでは八月二十九日(土)、県内はもとより九州各地で活躍するジャズグループ「ビッグバントカウントフォ」の公演を予定しています。幅広いレパートリーの中から、ジャズの名曲、ダンス音楽を楽しめるプログラムが予定されています。

公演の日程についての詳細は、つなぎ文化センターまでお問い合わせ下さい。

☎七八―三〇九六

読書感想文
「ズッコケシリーズ」を読んで

平国小五年　新立　香奈

私は、ズッコケシリーズを全部読みたいと思います。今は、ズッコケ占い百科を読んでいます。主役の、ハチベえ・ハカセ・モーちゃんの仲はとってもいいです。

今回の話は、ちょっとこわいけどわくわくしながら読み進めています。

一冊読み終わるたびに、次はどんな話だろうと思いながらズッコケシリーズを楽しんでいます。毎回毎回ハプニングがあります。そんなふうに何がおこるかなという気持ちでドキドキしてきます。まだ占い百科は、半分も読み終わってないけど、まだまだいろんな話があると思います。借りるたびにうれしくなります。

次の本がまちどおしくてたまりません。読書をすることは、とてもいいことだと思います。私は、ズッコケシリーズ全部の種類を読み終わりたいです。

ここに、こんな人が・・・・

B&G体育館管理人
伊藤純栄さん(43)（桜戸）

塚本禎子先生の退職にともない、四月よりB&G体育館及びその周辺の管理人としての生活をスタートされました伊藤さんを紹介します。

伊藤さんはもともと運動が大好きで、これまでも仲間と一緒にB&G体育館で汗を流されていましたので顔馴染みの人も多いと思います。

事務室の伊藤さん

伊藤さんの明るい性格と笑顔がこれからの体育館の顔になります。利用される方は、どうぞ気軽に声をかけて下さい。

日頃の仕事は、体育館や周辺施設の清掃及び利用者の把握になりますが、夜は体育館管理で十時まで、休日は月曜日。子育て真っ最中の伊藤家では、子どもの休日に家族揃っての外出は難しくなりました。それでも笑顔で、「家族で力を合わせて頑張ります」と話して下さいました。

プラス思考の伊藤さんは学校のPTA役員としてもご活躍中ですが、多くの人との出会いの中で、友達の輪を大きく広げていかれることでしょう。

公共施設の利用については、使用する側も「来た時よりも美しく」をモットーに、使わせて頂く精神で、いつでもきれいに気持ち良く使用できるように、一人ひとりが心がけたいものです。

（澤井記）

ただ今運動中

お茶の間に、おかっぱ、トーフ屋さんのラッパの音昭和ブームが郷愁を誘う。NHKで「テレビが来た日」という曲を流したが昭和では他にも冷蔵庫や洗濯機の来た日、電話や車の来た日などが家族の歴史を彩った。今なら「モノの豊かさが幸せの目安」などというと問題だが三十～四十年代は豊かといってもあふれる程でなく新しく家に来たモノの一つ一つが貴重で素直に嬉しく、豊かな未来を予感させて楽しかった。希望のもてる時代だったのだ。

昭和ブームに思うこと

林田　佳美（中尾）

また、あの頃は働く大人の横でよく遊んだ。モノの生産からゴミ処理に至るまでグローバル化した現代と違い、大抵のモノを家で作り、つくろい、始末する現場を子供らも見て育った。それは労働の大変さ、大人のえらさを理屈でなく肌で感じる体験であり子供なりに手助けする喜びもあった。

そういえば明治時代に来日したモースが「日本は子供の天国」だといった。「日本は子供に細やかな注意を払うが子育てはおおらかで子供はどの国より自由だ。小さくともものけ者にされず、いつも誰かに背負われて遊び場や仕事場にもついていき新鮮な空気を吸い、楽しい気分で全てのことを見る。日本ほど子供が礼儀正しく親切で両親を助け老人を敬愛する国は他にない」と。モースが見た風景は昭和の中頃まで残存していたのかバーチャルな話としてでなく自分の子供時代と重なって温かくよみがえってくる。

竹やぶの迷路、秘密基地、柿の木につるしたタイヤのブランコ、思い出の風景はなぜか空気も澄みわたり生きている実感を伴って色あざやかだ。わが子にも経験させたかったいくつもの幸せがあの頃にあるような気がして懐かしい。

短歌

本郷武雄選

つなぎ短歌会

氷雨降り故里恋うる夕まぐれ
こぶしの花はやさしく匂う
白浜美和子

山深き五木の里の道の駅
開店祝いに紅白餅も
西川　ムキ

海を背に咲き盛りたる桜花
「白梅荘」の庭で和みぬ
福田ヘ重子

生かされている身の倖わせ常言ひて
片麻痺の母は花育ていし
寺本ツルヲ

カーネーションもらう倖せ残り世を
迷惑かけぬ母とし生きむ
加来　道子

自が病いうべなふ夫の常よりも
冗舌なるに心いたみぬ
西　滋子

馬が背の岬めぐりし旅の日よ
想いは遥か君住める町
野田　津子

肥後狂句

迂闊にも
暗証番号きやー忘れ
ナツメロで
バタやん気取り「かえり船」
宰　相

迂闊にも
年金納付きあ忘れ
ナツメロで
得意ののどを披露する
達　生

迂闊にも
オレオレ詐欺に引っかかり
ナツメロで
年を忘れておどり出し
寅之助

迂闊にも
あん人ならと信じすぎ
ナツメロで
酒の量がきや増えた
神無月

迂闊にも
ねごとで名前呼んだげな
ナツメロで
わが青春のなつかっさ
万　葉

〔次回の笠〕
○知らん振り　○たのみます
一笠一句を　八月九日(月)迄
津奈木町教育委員会へ